

令和5年度 第2回 佐伯市行財政改革推進委員会（抄録）

開催日時 令和5年11月13日（月）午後2時から午後3時25分まで

開催場所 佐伯市役所本庁舎 6階大会議室

出席者

委員：安部秀昭（会長）、岩佐礼子（副会長）、青木栄二、大島美津子
川田菜穂子、河野照代、神田芳、小石昭人、末吉哲也、利光充規
宮崎正豊、山田美之 以上12名（12名中）

市職員：田中市長、武田副市長、山崎副市長
植田総合政策部長、清家総務部長、行財政改革推進検討部会員
行政マネジメント課職員（事務局）

*各振興局長はTV会議システムを活用してリモートにて参加

1 開 会 田中市長による開会あいさつ

2 会長あいさつ

3 議 事

①佐伯市行政経営推進プランの進捗状況について（令和5年度取組中間報告）
事務局が、進捗状況について説明した。

(1) 基本方針1 職員の意識改革と組織力の向上

○人事評価制度の活用

・管理職を除いてC、D評価は何人か。

→令和4年12月の勤勉手当において、C評価が23人、D評価が1人。

・限りなくB評価に集約されているのが現状。もっとSからDに割り振りして、職員にやる気を持たせる評価が必要。

○人件費の適正化

・推計では令和40年度の人口は約3万人となっている。将来の人口推計を見て計画的な採用が必要ではないか。

→人口減による職員数の減は当然必要である。本市の特徴として45歳から55歳の職員数が多いため、一定の職員数を確保しながら適正な人員確保に努める。

・これからの市政を考える上で、人員の削減は致し方ないが、職員のメンタルに関して、これまで以上にケアしていただきたい。

○人材育成の推進

・ジョブローテーションを意識した人事異動を行い、業務経験をさせるのはいいが、引継ぎがうまくできておらず、トラブルが発生している例があるので改善を

お願いしたい。

→しっかりした引継ぎを行い、住民の皆さまに迷惑がかからないよう徹底する。

○仕事と家庭の両立支援

- ・市役所以外の職場では有給休暇が取得できない、長時間労働には特定の部署、職階に問題が集中している例がある。市役所にも偏りがあるならば全職員へ周知、特定の部署、職階へ働きかけが必要。

→時期にもよるが、業務が偏る時期はある。業務援助等行いながら、特定の職員に業務が偏らないよう努める。

(2) 基本方針2 持続可能な財政運営の確立

○さらなる収収の確保

- ・収納事務において、口座振替や電子化を推進すれば滞納事務に注力できるので推進してほしい。

→スマホ決済や電子化等については随時取り組んでいるが、これまで以上に取り組みを強化していく。

(3) 基本方針4 行政の質と生産性向上について

○小・中学校の適正規模の検討

- ・小規模特認校について、特別な教育プログラムや、他校にない魅力的な発想の教育などを導入するのか。

→自然豊かな学校で自然体験等の特色を出さないと、人は集まらないと認識しているので、十分検討し設定していきたい。

○ICTを活用した電子手続き等の拡充について

- ・市民の利便性を図るため、水道料金の検針票、請求書や領収書など電子化を検討してほしい。

→スマートメーターや水道料金検針票の電子化について今後検討していく。

○公立保育所及びこども園の業務効率化や民間活用の検討

- ・こども園化する3園には連絡会のような同時に話し合える場があるのか。

→連絡会はない。逐一連絡をとりながら協議を行っている。

4 今後のスケジュール 次回は令和6年2月7日開催予定

5 閉会 田中市長による閉会あいさつ